

NEW

洗浄不要のイムノアッセイ構築キット

ONEPot Immunoassay Kit <OpenGUS Method>

※本製品は上田宏博士、北口哲也博士および朱博博士ほか（国立大学法人東京工業大学科学技術創成研究院（当時））の研究成果をもとに、BDLが開発、製品化しました。



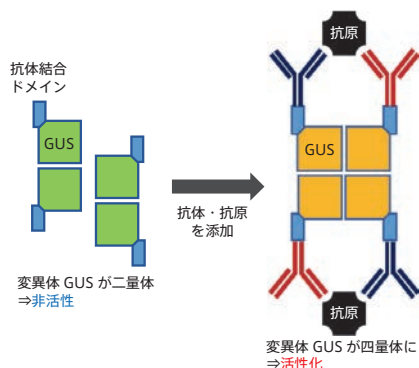
Web ページ番号

71518



タンパク質の測定系を構築するためのキットです。変異体 β -glucuronidase (GUS) を用いた OpenGUS Immunoassay の原理で測定を行います。プレートへの抗体の固相化やウェルの洗浄が不要で、抗原、抗体 2 種類と検出用酵素を混ぜるだけの簡単操作です。

原理



本製品は、抗体結合ドメインを融合させた変異体 GUS です。抗原抗体反応を介し、GUS が四量体を形成することによって、抗原濃度依存的なシグナルが得られます。

ご注意

- ※標的抗原がタンパク質の場合、3 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 以上含まれる試料のご使用を推奨します。
- ※サンドイッチ ELISA が適用可能な 2 種類の抗体の組み合わせであっても、本製品に適さない場合があります。
- ※試料溶液の組成によっては、シグナル強度に大きく影響する場合があります。また、検出感度は、標的抗原および用いる抗体によって異なります。
- ※ヒト血清/血漿/血液などのイムノグロブリンが多く含まれる試料は、バックグラウンドが高くなるため使用できません。

特長

- 2 種類の抗体 (Mouse IgG₁) で標的抗原をサンドイッチして、検出します*1。
 - ELISA と比べて、抗体の使用量を節約できます (96 ウェルあたり、約 7 $\mu\text{g} \times 2$ 種類)
 - 蛍光 (#DS850) または比色 (#DS860) で測定するキットがあります。
 - 測定波長：蛍光 励起 340 nm / 蛍光 450 nm
比色 405 nm (補正波長：660 nm)
- *1 多量体を安定的に形成するタンパク質では、1 種類の抗体のみで検出できる場合もあります。

使用例：唾液および涙液中のラクトフェリン濃度測定

試料	唾液		涙液	
	希釈倍率	ラクトフェリン濃度*2	希釈倍率	ラクトフェリン濃度*2
市販 ELISA キット	1,000 倍	6.2 $\mu\text{g}/\text{ml}$	200,000 倍	2,158 $\mu\text{g}/\text{ml}$
	2,000 倍	5.7 $\mu\text{g}/\text{ml}$	400,000 倍	2,175 $\mu\text{g}/\text{ml}$
本製品	300 倍	4.2 $\mu\text{g}/\text{ml}$	40,000 倍	1,831 $\mu\text{g}/\text{ml}$
	600 倍	4.4 $\mu\text{g}/\text{ml}$	80,000 倍	1,734 $\mu\text{g}/\text{ml}$

唾液および涙液中のラクトフェリン濃度を本製品または市販の ELISA Kit を用いて測定し、得られた結果を比較したところ近似する値が得られた。本製品での測定には 1 種類の抗体のみを使用した。ラクトフェリンは多量体を形成しているため、1 種類の抗体のみでの検出が行えたと考えられる。

*2 検量線より算出

[メーカー：BDL]

品名	商品コード	包装	価格(¥)
ONEPot Immunoassay Kit, Fluorescent <OpenGUS Method> NEW	DS850 -80°C	1 kit	63,000
ONEPot Immunoassay Kit, Colorimetric <OpenGUS Method> NEW	DS860 -80°C	1 kit	63,000

販売店

フナコシ株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号
www.funakoshi.co.jp info@funakoshi.co.jp

試薬：✉ reagent@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1620

機器：✉ kiki@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1619

受託：✉ jutaku@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1645